

熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第1報] 令和2年(2020年)3月31日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

世界的な大流行が加速する中、国内では都心部を中心に感染者が急増し、中でも市中感染が濃厚な感染者が増加しており、特に東京都では爆発的な感染拡大が危惧されている。

熊本市では、2月21日～25日の間に4例の感染者が確認され、3月19日に5例目、25日には6例目となる市中感染が濃厚な感染者が確認された。その後、6例目の感染者が滞在されていた温浴施設を利用された方などから3例が確認され、さらには29日には市中感染が濃厚な10例目、翌30日には10例目の感染者が経営する会社の従業員から1例、親族から1例が確認された。

これで本市での感染者は計12例となり、このような市中感染が増加していった場合、爆発的な感染拡大に伴う大規模な流行につながる可能性があり、最大限の警戒を行う必要がある。

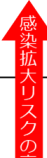
前回		今回	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
—	—	レベル3 警報	拡大

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	国の地域類型	具体的な対策例	拡大傾向	収束傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	1 感染状況が拡大傾向にある地域	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請		
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上		レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	2 感染状況が収束に向かい始めている地域並びに一定程度に収まっている地域	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	3 感染状況が確認されていない地域	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない		・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源となる感染者が特定できないもの。

2 患者発生状況

新型コロナウイルス感染症患者発生数：12例（3月31日15時現在）

	公表日	患者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	
2	2/21	50歳代 男性 会社員	患者1の父
3	2/24	50歳代 男性 会社員	患者2の接触者
4	2/25	60歳代 女性 会社員	患者1の母
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	患者7の配偶者
10	3/29	50歳代 男性 自営業	
11	3/30	50歳代 女性 会社員	患者10の接触者
12	3/30	70歳代 女性 確認中	患者10の接触者

〔熊本市における新型コロナウイルス感染症患者発生状況〕

